



With コナ

# これからの住宅事情

## 輻射熱原理、空調に利用

上初めて気温40度を越えた、という全国各地の観測

### ■輻射熱を知る

家庭においても電力消費量の増加とともに、昨今の円安でエネルギーコストの増加が電気料金に加味され、今日まで考え及びもしなかつた金額が家庭の財布をひっ迫させています。私は長年、建築業界に携わっています。

地元の報道がなされていきます。私が子どもの頃には想像もつかなかつた暑さです。電気の消費量もつなぎ上りに増し、大都市圏を中心に節電が呼び掛けられています。

量を増やして、健康に優い家を建てるのが一つの目的でした。そのためどつすればそのような家が造れるのだろうかと多くのメーカー、技術者、工務店に相談を持ち掛けました。そこである技術者からの一言が決め手となりました。それは輻射エネルギーの特徴を知り、それを住宅に応用するのが一番のポイントであるということです。

子どもたちの笑顔。夏本番、昨年完成した家の庭には、多くのセミが集まり早朝から大合唱。その数を数えてみると何と49匹もいました。近所の子どもたちから「おじさん、セミ捕ってもいい？」と声を掛けられ、その喜びの声を聞いていると何か心が豊かになり、こんな小さな庭でも造って良かったなと思えます。

てきて、もし自分が家を建てるならエネルギー消費量を極力抑え、財布に、健康に優しい家を建てるのが一つの目的でした。そのためどつすればそのような家が造れるのだろうかと多くのメーカー、技術者、工務店に相談を持ち掛けました。そこである技術者からの一言が決め手となりました。それは輻射エネルギーの特徴を知り、それを住宅に応用するのが一番のポイントであるということです。

「電気代間違っていない？」冬の家の暖かさも多くの人に絶賛されましたが、夏場の涼しさや快適性では、特に来場された女性から多くの喜びの声を頂いています。気になるランニングコストですが、電力会社からの請求書をお見せしたところ「なぜこんなに安いのか、間違っていない？」という驚きの声が聞かれました。今は令和、家を建てる技術、空調も格段に進歩しましたが、その技術を一つ一つ組み合わせて完成したのが「Together+豊山」です。私たちには使う責任、作る責任があるのです。

（一般社団法人「日本の山の恵みを生かす会」代表・吉田和弘）  
▲月1回掲載します▼  
よしだ・かずひろ 1959年3月、三重県大台町生まれ、愛知県豊山町在住。40年の建設関連会社勤務の間、代表作「スローハウスシリーズ」など、木造住宅とエネルギーの関連をテーマに書籍編集・出版に携わった。一昨年、一般社団法人「日本の山の恵みを生かす会」を立ち上げ、次世代の住宅・エネルギーについて、活動の具現化に努めている。



よしだ・かずひろ 1959年3月、三重県大台町生まれ、愛知県豊山町在住。40年の建設関連会社勤務の間、代表作「スローハウスシリーズ」など、木造住宅とエネルギーの関連をテーマに書籍編集・出版に携わった。一昨年、一般社団法人「日本の山の恵みを生かす会」を立ち上げ、次世代の住宅・エネルギーについて、活動の具現化に努めている。



風が発生しない家具調の輻射式冷暖房パネル。ランニングコストも安く大人気！愛知県豊山町

■輻射式冷暖房パネル設置  
輻射エネルギーとは、ある一定の周波数を持った光のこと、熱エネルギーの75%がこのエネルギーなのです。夏場においてはその

てきて、もし自分が家を建てるならエネルギー消費量を極力抑え、財布に、健康に優い家を建てるのが一つの目的でした。そのためどつすればそのような家が造れるのだろうかと多くのメーカー、技術者、工務店に相談を持ち掛けました。そこである技術者からの一言が決め手となりました。それは輻射エネルギーの特徴を知り、それを住宅に応用するのが一番のポイントであるということです。

（一般社団法人「日本の山の恵みを生かす会」代表・吉田和弘）  
▲月1回掲載します▼  
よしだ・かずひろ 1959年3月、三重県大台町生まれ、愛知県豊山町在住。40年の建設関連会社勤務の間、代表作「スローハウスシリーズ」など、木造住宅とエネルギーの関連をテーマに書籍編集・出版に携わった。一昨年、一般社団法人「日本の山の恵みを生かす会」を立ち上げ、次世代の住宅・エネルギーについて、活動の具現化に努めている。